

AJU

コンビニハウス

会報

編集/コンビニの会事務局
連絡先/〒452-0822 名古屋市西区中小田井 2-431
TEL/FAX(052)505-6082(コンビニハウス)

障害をもつ人たちの地域生活を支援する

特定非営利活動法人
コンビニの会

定価/150円
昭和54年8月1日第三種郵便物承認

第132号



伊勢神宮別宮 伊雑宮の御田植祭にて 2017年

伊雑宮さんのお田植祭

フォトグラファー 松田マキコ

晴天の朝、いよいよ御田植祭の始まりです。
奉仕者と近郷の青年達が入場すると、その
場の空気がキーンと引きしまり、思わず背筋
がピンと伸びます。

白い着物に赤いタスキ掛けをした早乙女達
の姿は稲の緑と美しく調和し、普段は静かな
佇まいのこの場所も一気に華やかに彩られま
す。

場所は、志摩市磯部町にある伊雑宮(いざわ
のみや)御料田。古式ゆかしい装束に身を包ん
だ太鼓打ちや鼈摺(ささらすり)らによる田楽
が響き渡る中、早乙女達によって厳かに行わ
れる御田植神事です。

クライマックスの勇壮な禪姿の男達が大き
な団扇(うちわ)のついた忌竹(いみだけ)を、
泥だらけになって奪い合う荒々しい戦いに
は、見守る観客たちの興奮は頂点に達します。

(次頁へ)

太古より脈々と受け継がれてきた伝統と歴史の積み重ねに生まれた、荘厳な時代絵巻を目の前にし、この年の豊作と豊漁を願うと共に、この神事が次の世代へと確実に受けついでいって欲しいと強く思いました。

最後になりましたが、ご挨拶をさせていただきます。音楽関係の仕事しながら大好きな写真を撮り続けている松田マキコと申します。どうぞ宜しくお願いいたします。

追記 伊雑宮は伊勢神宮内宮の別宮で、全体の神事は、年間で1500もあるそうです。

御田植祭は、今年も6月24日に、雨でも嵐でも開催されるとのこと。

平安朝ののどかな息吹を味わいに、是非出かけてみてはいかがでしょうか。



伊雑宮の竹取神事にて 2017年

雑記 ごまめの歯ざしり

緊急入院

節目節目が危ないから気を付けなければならないとは、若い頃からよく聞かされてきた話である。その節目の年齢になった私ども夫婦も最近よくそんな話をするようになっていた。その矢先、元気が取り柄だった夫が緊急入院ということになって正にその言葉を実感しているところだ。

事の顛末はこうである。桜の花の咲く頃、夫が急に便の色がおかしいと言い出した。

えっ、ガン？と一瞬疑ったが2か月前に受けた検診では何の異常もなかったし、痛いとか気になるとかいう箇所もない。食欲も至って普通である。「一体どこが悪いだろう」と不思議がる夫にとにかくすぐに内科の受診をするように勧め、3日後に胃カメラを飲む予約をして頂いた。紹介された名城病院は近いので気軽な気持ちで自転車で行って行った。けれどしばらくして電話が鳴った。「緊急入院だそう。胃潰瘍で出血してるんだって。」

病気はデラフオイ胃潰瘍という珍しいものであった。細い管だけれど胃の中の動脈が切れるので、貧血を起こして倒れることもあるらしい。治療は内視鏡検査と同時にクリップで出血箇所を止めるという方法でアツと言う間に終わったそう。問題はその後の食事療法である。最初の2日間は絶食。その後重湯、三分粥、五分粥と進んで行き、結局10日間の入院を余儀なくされた。自覚症状が何もなかった夫は食欲は普通なので、面会に行く度に「ハラが減って仕方がない」とこぼしていた。

しかしやはり食事が一番肝心なようで、退院の前に栄養士さんから最低1か月はくれぐれも消化の良いものを摂るようにと丁寧な御指導を頂いた。おかげでその教えを忠実に守り続けている今日この頃の夫である。

(会報委員 大島伊久代)

新年度について

生活支援部 現場総合主任

榊原 芳典

この数年間を振り返ると、生活支援部は退職や育児休暇に伴う人手不足のなかで、障害のある方（以下、利用者）へのヘルパー派遣や、運営するグループホームの維持に追われてきました。

長時間労働や超過勤務が慢性化したことに加え、福祉サービスの提供に必要な行政書類が年々増えていたため、介助だけでなく書類作成が職員の負担となっていました。

また、利用者の加齢や障害の重度化によって、介助方法の見直しや、より高い介助技術

が必要となりました。そして、自分たちの知識、技術だけでは限界があると痛感し、医療をはじめとした専門職との連携が強く求められるようになりました。

そうした課題に対し、給与額の見直しや、労働環境の整理など、人材確保のための待遇改善を実施し、その結果、パートヘルパーの増員、定着で、サービス提供量を維持したまま、職員の負担を軽減することができました。

さらに、通所部からの人事異動で、管理職やベテラン職員を配置してもらいましたが、このことは人員の補充以上の意味をもっていました。

自分が未熟な主任であったために、事業を進展できなかったこと、職員やヘルパーの育成、相談に関わる余裕をもてなかったこと、そのことで事業所を去った人もいたのでは

ないかと感じていました。

そう思っていながら、結局変えられなかった状況が、管理職やベテラン職員の増員によって前進し始めたのです。同じ立場で一緒に考え、悩みを分け合ってくれる人がいてくれる、そのことは自分にとって本当にありがたいことでした。

そうした恵まれた状況の中、新年度に何を目指すか考えていたとき、次のような事故報告が目につきました。

掃除を頼まれたヘルパーが掃除機の使い方わからず、説明書も読まずに誤った使い方です壊してしまった、ヘルパーの多くがコンセントの掃除までが必要だと思っておらず、遂に漏電させた、など。

事故報告を読みながら、少ない人手のなか、「まず利用者さんの思いを大事にして欲し

い、他のことはあとからでも覚えられるから、教えるから」と、性急に支援の引き継ぎを行ってきたことの付けが回ってきたように感じました。

ヘルパー側から事故報告が挙がってくることで、そうした状況を知ることができたが、利用者側はそのことをどう感じているのでしょうか。

気持ちを汲み取ろうとしてくれるけれど、頼りにならない職員やヘルパー、いつか変わってくれるだろうか、いつまで待っていいのだろうか。そんな気持ちを我慢してないかと想像しました。

それを放置し続ける事業所ではいけないと感じたため、新年度は、生活支援を担う集団として原点に立ち返りたいと思います。日常的な家事援助技術の習得や指導から、将来

も含めた生活相談にも現実的に対応できる力を身につけていきたいです。

そのために、まずは常勤職員としての役割を明確にし、その責任を果たせるよう個々の特性に応じた育成を実施していく必要があります。

最後に、通所者のなかで介護負担が限界を迎えている家庭も増えていることから、新たな人材を確保し、ショートステイ事業の拡大や、新しい自立生活（家族から離れた生活）づくりも目指していきたいと思います。

通所部WILLの

新年度のあり方

通所部 サービス管理責任者

寺澤 慶英

【WILLの基本方針】

1. 障害の有無にかかわらず、個人の尊厳を尊重しお互いの存在価値を認め合える場になります。

2. 一人ひとりの生きがいを大切にします。

3. 「共に生き」「共に学び」「共に育みあえる」場になります。

4. 地域の人たちとのふれあいを大切にします。

平成30年度が始まりました。4月から新しく2名の特別支援学校卒業の仲間が増えました。緊張の顔、新しい発見の顔、若い後輩を笑顔で見守る優しい顔、一緒に笑う楽しそうな顔、23名の仲間とにぎやかな毎日をお過ごししています。昨年から職員の異動などもあり環境的な変化もあって、慌ただしい雰囲気を作ってしまったのではないかと申

し訳なく思います。

今年度の通所部は現在すすめている新通所施設（生活介護 開設にむけての準備の一年であると同時に、二つの通所施設のそれぞれのテーマにむけた活動内容や取り組みを検討していく期間になります。医療的ケアが必要な方々や重症心身障害の方への支援や活動、働くことや受注作業、授産的な活動という大きな二つのテーマの下に今のWILLでの活動を踏まえて整えていきたいと思っています。

今年も23名の仲間がたくさん会いたいと思います。お休みがちな方には常に心を通び来ていただける努力を続けること。安心して過ごせる場所を維持していくこと。わくわくしながら通って来られるような取り組みを提案すること。また、通所者の中には将来の

生活面での不安から他法人の短期入所を利用される方も多くなってきました。ご本人も家族も毎年、歳を重ねていきます。やはり具体的な見通しが提示できないまま時が過ぎると将来の不安も膨らんでいきます。いろいろな他事業所を利用して、ご本人が気に入っておられれば、それも良いと思いますが、やはり日々関わっている自分たちが本人の願う暮らしに携わり、提供していけたらという思いは強くあります。他事業所の短期入所を利用されるとWILLで会えない日が増える訳で、寂しい限り。その点では法人内の生活支援部の協力を得ながら通所を続けてもらう中で、ご本人、ご家族といっしょに相談していけたらと思います。

もう一つは、基本方針にあるように働くスタッフも同様に、ここで働けて良かった、W

IILLで良かったと思えるように取り組みます。業務は多忙です。日々いろんなことがあります。イレギュラーな事も多いです。時間も体力、気力も無限ではありません。その中でただこなしで負担感だけが増していくような状態だとピリピリした空気が張りつめ、事故や虐待（様々な意味で）につながりかねません。和を以て貴しとなす。役割を明確にし相談し議論し合える柔らかな雰囲気を作って行きたいです。自分も含めて経験値も他の施設の職員構成に比べれば、全般的に乏しいかもしれません。しかし今いるスタッフはみな個性豊かです。それぞれがちがう良さをもっています。その個性をいかして創意工夫できるWILLになりますよう今年度も歩みを重ねていきます。

「地域の中で生きる」といふこと

エゼル福祉会 理事長

大川 美知子

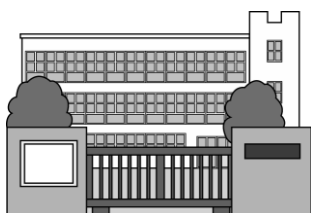
コンビニハウス近くの名古屋特別支援学校から「授業風景を見学しませんか？」と声をかけて頂き、出かけたのは2年ほど前のことでした。

西区の小田井と言う街にあるこの学校は、私が障害のある娘を12年間送迎した思い出深い学校です。その変わらない佇まいが30年と言う時の流れをせき止めているよう

に感じましたが、変化していたのは通学しておられるお子さんの中に障害の重い方が多くなっていることでした。

特に私が驚いたのは、気管切開や胃ろうなどの医療ケアを受けておられるお子さんが何人も授業に参加していらしたことです。医療ケアの必要なお子さんのクラスには当然ですが、看護師さんも授業に加わっていらっしやいました。

娘が学校に通っていた頃は、私の娘が身体的には最重度でプールも修学旅行も親が付き添うことが条件でした。どの教室



にもプールにもお母さんらしい方の姿はありませんでしたので、「学校も変わったなあ・・・」と、学校の考え方が変わったのか、県の教育委員会の考えなのかはわかりませんでした。親御さんの強い願いや、先生方の頑張りに端を発してこのような大きな変化が起きたことは間違いありません。

5年前に娘が気管切開の手術を受けた時に私のところに戻って来たほうが良いのではないかと思いました。しかし娘はそのままヘルパーさんの助けを得て一人で暮らす道を選びました。私の傍を離れて20数年、信頼できるヘルパーさんとの繋がりが作られていたことや、自分らしい暮らしを作り続け

て来たことを無駄にしたくなかったのかも知れません。

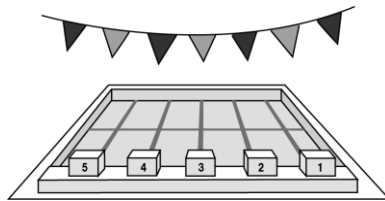
支援学校の見学は、医療ケアに対する社会的な整備が充分整っている訳でも無く、行政の認識もまだまだ低い中で懸命に生きようとする我が子の姿に重なるものがありました。

帰り際、案内して下さった先生に「医療ケアが必要なお子さんは欠席が多いのですか？」とお尋ねすると、看護師さんが足りないので、通学希望があっても100%応えられていないのだと言われました。また、「呼吸器を着けているお子さんはプールには入れませんよね？」と質問すると、「いやいや！

プールが大好きで子供用のビニールプールでは無く大きなプールに入っています」とのお答えでした。

“命が輝いている！”

そう感じました。その日から、あの子供たちの卒業後を考えるようになり、地域社会の一員となれる準備をしたいと思うようになりました。

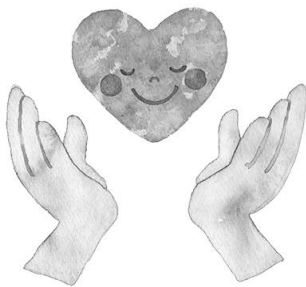


法人の方針として医療ケアを含めた重度障害の子供たちの通所施設の建設が職員会議や理事会で話し合われるようになり、昨年一年をかけて名古屋市との協議が続けられ

ましたが、この三月に国と名古屋市から施設整備金を交付して頂けることが決まりました。

新しい施設が建設される街の名前にちなんで新施設は「WILL歌里」と決まりました。

完成までの日程を掲載させて頂きますので、どうぞご覧ください。



今後の想定スケジュール(平成30年4月時点)

時期		内容
年	月	
H30	3	施設整備補助金 交付決定
	4	現地ボーリング調査
	5	設計監理業者 契約 一般競争入札 公告
	6	入札参加申出 締切 理事会 入札執行の承認 入札執行通知・設計図書発送
	7	入札実施 理事会 工事契約の承認
	8	工事着工
	9	
	10	
	11	
	12	事業所指定申請
H31	1	
	2	工事完了
	3	整備施設 完了
	4	整備施設 開所

工 事

新施設『WILL歌里』が想像できるようなイラストを12ページに掲載しました。

1階に事務所、相談室、ショートステイ（短期入所）、地域サロン

2階に通所（生活介護）、研修室

広い空間でゆったりとした支援ができ、地域サロンでは障害のある方、子ども、高齢者などそれぞれのニーズに応えられるような楽しい集まりを企画します。

会報をお読みいただいている皆さまへ



夏を思わせる陽射しに、早くも日陰が恋しくなります。日頃、皆様方にはコンビニの会、エゼル福祉会の活動をご支援いただき感謝しております。

高齢化に伴い人手不足が常態化し、特に福祉業界では厳しい状況です。高まるニーズに応えるためには魅力とやりがいのある職場であることを若い皆さんに知ってもらえるように様々な発信をしていこうと思います。今後も障害のある人の立場にたって共感していただける方を増やし、社会とつながる役割を果たす決意です。

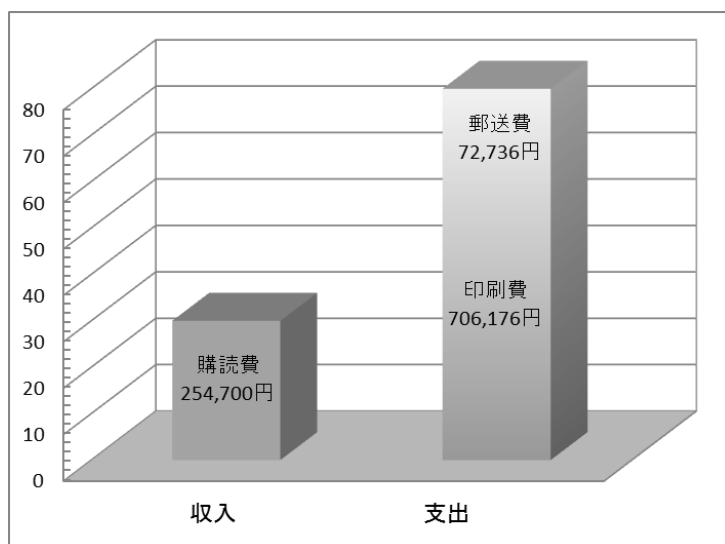
NPO法人の所有するマンションは建設してから時間がたち修繕費が年々増えることは必然ですが、お蔭様でマンションは満室になっています。新たに家族での介護が難しくなった場合でも生活が続けられるように住まいを準備して引き受けることができるかなど課題はあります。エゼル福祉会とともに役割を分かちながら解決していこうと考えています。

会報では読者の皆様に障害者を取り巻く制度や生活の様子に関心を持っていただけるような記事を掲載したいと思っています。今年度は新施設建設が決定し、新しい事業への取り組みをお伝えするつもりです。読者の皆様の関心や支援に大きく励まされることは間違いありません。

このような形での会報発行にご理解いただけましたら、会報作成費の捻出にご協力ください。趣旨をご理解いただける方のみで結構です。強制ではございませんので、ご承知ください。

特定非営利活動法人コンビニの会 理事 宮川優子

平成 29 年度 会報購読料の収入と支出





《活動状況》

3月

- 1 日 理事会
- 4 日 ヘルパー学習会
- 4. 11. 18 日 行動援護従業者養成研修 (山下)
- 7. 9 日 理事面談 (寺澤・有満・佐藤・大西)
- 10 日 評議員会
- 14. 21. 28 日 行動援護従業者養成研修 (増田)
- 15 日 加藤建築打ち合わせ
- 18 日 つばみの会「自閉症セミナー」
(佐藤・曾我)
- 22 日 WILL 祝日開所
- 20 日 会報発送
- 22 日 WILL 親の会
- 26. 27 日 名古屋市集団指導
(榊原・溝口・渥美・水谷・寺澤・大西)
- 29 日 通所全職員会議
- 30 日 生活支援事業所連絡会会議 (榊原)

4月

- 1 日 ヘルパー学習会
- 3 日 WILL 入所式 (高嶋さん・石原さん)
- 3 日 会報会議
- 10 日 ことあ様 見学
(大川・大西・坪内・伊藤篤志氏・OT 伊藤氏)
- 10 日 理事面談
(大川・神谷氏・有満・大西)
- 12 日 自立支援協議会事業所部会世話人会
(寺澤)
- 15 日 全障研 春ののびのび講座
(馬淵・水野・曾我)
- 19 日 工程会議 (大川・坪内)
- 20 日 生活支援事業所連絡会会議 (榊原)
- 22 日 名古屋法律事務所講演会
(大川・榊原・野村・水谷・寺澤・大西・坪内)
- 24 日 自立支援協議会相談支援部会 (有満)
- 26 日 WILL 親の会
- 30 日 WILL 祝日開所

重度訪問介護従業者養成研修のご案内

重度訪問従業者養成研修を下記の日程（全日程3日間）で開催いたします。
身体に障害のある方の支援ができる資格です。福祉の現場に関心がある方、経験を将来に活かしたいと思われる方に、受講をおすすめします。資格取得後は、ヘルパーとして活動できます。この機会に福祉の現場をのぞいてみてください。

◇ 日程 講義/実習 全日程3日間 土曜日コース

平成30年 6月16日(土)・23日(土)・30(土) の3日間

◇ 開催場所 社会福祉法人エゼル福祉会 研修室

◇ 受講料 10,000円

◇ 定員 15名(先着順、定員になり次第締め切らせていただきます。)

◇ お申込み・お問い合わせ 下記メール、または電話FAXにて受付いたします。

✉ convini@beach.ocn.ne.jp ☎・Fax 052-505-6082 担当 事務局 岩崎

愛知県承認指定講座 事業所番号 愛障137号



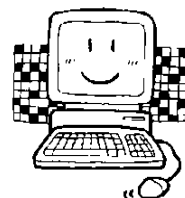
↑
ホームページ URL
は
こちらをスキャン

事務局コーナー



「ご協力ありがとうございました」

3月～4月（敬称略・順不同）



★ ご寄付いただいた方々

（NPO 法人コンビニの会）

※会報購読料1万円以上お振込みの方

ココキカク キンサユミ

野田正文 山上小枝子

トクメイ

★ 物品寄付をいただいた方々

（コンビニハウス）

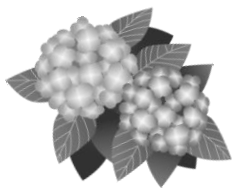
伊藤夢子 塩澤しのか

加藤礼奈 前田優月

（WILL）

塩澤しのか 増田真衣子

礒部常光 井上祐子



★ 活動にご協力いただいた方々

（コンビニハウス）

石原正寅 青木政治 加藤 結 土田京加

辻本道子 桑原諸彰 黒田隆広 林 和子

高塚朱美 藤本菜見 堀 浩二 水野裕哉

大瀧有乃 楠村ゆき 石原まち 鬼頭優菜

奥村 修 麻生早紀 坪内美紀 星野恭兵

寺西 剛 勝野観月 水谷友香 辻本有沙

伊藤翔磨 松本浩希 酒井まみ子

藤本由紀子 辻本沙利菜 茂手木利典

（WILL）

須田たみ子 伊藤翔磨 松原有奈

★ 会報発送ボランティア

佐藤美紀子 半田素子

吉田嘉子 丹羽正子

銀行口座

三菱東京 UFJ 銀行 小田井支店 店番 238（普）口座番号 1440108

特定非営利活動法人 コンビニの会

郵便振替口座 番号 00800-2-35190 コンビニの会

平成31年4月開所予定の新施設『WILL歌里』の図面をイラストにしてみました♪



※図面は変更することがあります。

イラスト：生活支援部 増田真衣子

ご意見・ご質問・お問い合わせは下記までお寄せください。〒452-0822 名古屋市西区中小田井 2-431
障害のある人たちの地域生活を支援する

特定非営利活動法人

コンビニの会

理事 宮川 優子

コンビニハウス Tel (052) 502-7731

Fax (052) 505-6082

URL <http://ezeru.sakura.ne.jp/>

E-mail convini@beach.ocn.ne.jp